

平成30年度 I期 幼稚園自己評価 実施報告書 (教職員アンケート)

配布 8月28日

回収 9月7日

[評定基準]A:目標達成 B:8割以上達成 C:8割未満達成 (A・Bを肯定的意見とする各項目での平均値)

[評価基準]肯定率(A・Bを肯定的意見とする) ◎90%以上 ○80%以上 △60%以上 ×60%未満

A よくあてはまる B おおむねあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない (%)

項目	評価の観点	評定	評価	A	B	C	D	考察と対策
教育目標の達成	① 発達年齢に応じた基本的な生活習慣の自立を図る指導を行っていますか。	A	◎	31	69	0	0	●やり遂げる力を育てるには、子どもたちがやりたいと思う動機づけとなる環境設定やあそびの提案をする必要がある。やりたいと思ったことを最後までやりぬけるように子どもの思いに寄り添い、励ましの言葉をかけながら見守っていくようにする。
	② 物事に意欲的に取り組み、創意工夫し、やり遂げる力を育てる指導を行っていますか。		◎	15	77	8	0	
	③ 思いやりの心をもって人と接し、望ましい集団生活ができる指導を行っていますか。		◎	38	62	0	0	
	④ 自然との出会い、体験学習を通して感動の心や愛情を育む指導を行っていますか。		◎	23	77	0	0	
	⑤ 経験したことや、自分の気持ちを言葉で表現し伝え合う喜びを知ることができる指導を行っていますか。		◎	23	69	0	8	
保育の取組み	① 幼児の実態を踏まえ、発育発達に即した教育課程(月案、週案)を作成し、子どもの主体性を重んじて意欲を高める実践ができていますか。	A	◎	31	69	0	0	●人は生後、「泣く」という発声から喃語、言葉の獲得へと音声を利用したコミュニケーション能力を発達させる。乳幼児期に言葉にならない言葉を身近な存在が理解し応答的に接することで、言葉の獲得が飛躍的に伸びる。音声を使って表現し伝え合うよこびは、生まれてからすぐに始まっていることを考え、乳幼児期の言葉かけの重要性を十分に理解して保育に従事していく。  ●環境設定の工夫や体力向上をねらいとした保育計画等、教職員が研修の参加や自己研究を進めながら、自らの指導力を高めていく必要がある。今後も積極的に研修に参加できる環境を作っていくようにする。  ●今年は、災害により新谷まつり(よさこい)が中止となった。年長児は善安寺の花まつり、交通安全教室、防火パレード等で様々な人と関わる機会があるが、他の学年においても、園外の人との交流が持てるように保育計画の見直しが必要である。
	② 園行事は時期や内容など適切に実施されていると思いますか。		◎	15	77	8	0	
	③ 評価、反省を活かし、指導計画や行事などの見直しに努めていますか。		◎	8	83	8	0	
	④ 子どもたちを認め、自己肯定感を持てるように援助して幼稚園が楽しいと感じられるように配慮していますか。		◎	38	62	0	0	
	⑤ 子どもの思いを受け止め、一人一人の気持ちに寄り添う関わりができるよう努めていますか。		◎	31	69	0	0	
	⑥ 子どもの興味や関心に応じた遊びや環境設定を工夫していますか。		○	23	62	15	0	
	⑦ 子どもの心身の発達、日々の気づき等を記録し、園での様子を保護者に適切に伝えていますか。		◎	31	69	0	0	
	⑧ 挨拶、言葉遣いの指導を行っていますか。		◎	38	62	0	0	
	⑨ 体力向上をねらいとした保育の内容を考え計画的に実践していますか。		○	31	54	15	0	
	⑩ 自園菜園、調理体験、給食等を通して食に関する知識や感謝の気持ちが育つ食育を計画的に行っていますか。		◎	31	69	0	0	
開かれた幼稚園づくり	① 保護者が安心して話したり、気軽に相談したりできるよう、保護者とのコミュニケーションを図っていますか。	A	◎	38	54	8	0	●避難訓練を通して、集団行動の重要性を再認識することができる。速やかに集合できることや先生の話が聞けるように日ごろから指導をしていくようにする。防災意識は常に高く持つて有事に備えるようにする。  ●子どもの人権、主体性を重んじるために、子どもたち一人ひとりと信頼関係を築き、子どもたちの思いを理解して寄り添うことができるように努める。また、保護者との信頼関係を築く中で、家での子どもたちの様子の変化を知り、不安定さが見られる子には適切なかわりができるようにする。
	② 園だより、フェイスブック、あゆみ等で園活動や子どもの様子を伝えていますか。		◎	23	77	0	0	
	③ 保護者の願いに応えた教育活動を行うように努めていますか。		◎	15	85	0	0	
	④ 施設交流や地域の行事への参加で、子どもたちが様々な人との関わりを学べるよう援助していますか。		△	8	54	38	0	
	⑤ 進級及び小学校生活への移行を考慮した指導計画を立て、実践していますか。		◎	8	92	0	0	
	⑥ 幼稚園が開かれた施設で親しみやすく安心できる場であるよう、関係者との信頼関係を築くよう努めていますか。		◎	23	77	0	0	
安全衛生	① 避難訓練などを通して、子どもへの安全指導を適切に行っていますか。	A	◎	69	31	0	0	●教職員アンケートをもとに、教頭、保育主幹、主任が、教職員に対し個別の相談および指導を行うようにし、その中で、自己評価と客観的評価の双方から個人の努力目標をより具体的に示すとともに、評価の観点を見直し達成度を評価することで、教職員の資質の向上につながるようにする。
	② 施設、設備、遊具の定期点検を実施し、事故防止と安全、衛生管理に努めていますか。		◎	46	54	0	0	
	③ 教室内、遊具、子どもたちの所持品等の衛生管理に努めていますか。		◎	38	62	0	0	
服務	① 教員としての勤務態度は厳正で、人に対する公平な対応ができていますか。	A	◎	46	54	0	0	
	② 服装、身だしなみ、言葉遣い、生活習慣が子どものモデルとなることを意識して職場での行いに気をつけていますか。		◎	31	62	8	0	
	③ 子どもの人権、主体性を重んじた関わりができていますか。教師の考えを押し付けていないか。		○	31	54	15	0	
	④ 個人情報取扱いに留意し、守秘義務を遂行しているか。		◎	85	15	0	0	
	⑤ 研修会等に積極的に参加し、保育の向上に努めていますか。		◎	54	46	0	0	